

2012.11 - 2014.9

日本内外の動きとUAゼンセン・連合の歩み

■ 日本内外の動き

2012年11月

- 1日 シャープが4500億円の赤字に
- 3日 中国・万里の長城で日本人観光客遭難、4人のうち3人死亡
オバマ大統領が再選
- 12日 小沢一郎氏2審も無罪、強制起訴で初の判決確定
- 15日 中国・習近平体制発足、胡錦濤氏に代わり共産党総書記に
- 16日 衆議院解散、野田内閣は衆院選を12月16日に投票と決定
- 17日 日本維新の会に「太陽の党」が合流、代表に石原慎太郎前都知事が就任
- 21日 鳩山由紀夫元首相が引退表明、野田政権の方針に従う誓約書に署名せず、衆院選への立候補を断念
- 27日 滋賀県の嘉田由起子知事が卒原発を掲げ、「日本未来の党」結成、小沢一郎氏も合流
- 29日 パレスチナが「オブザーバー国家」に、国連総会が参加資格を従来の機構から格上げ、米国は反対

12月

- 2日 中央自動車道「笹子トンネル」天井板崩落事故
- 3日 英国王室キャサリン妃ご懐妊
- 19日 韓国大統領選挙 与党セヌリ党のパク・クネ氏が当選 女性初の韓国大統領に
- 25日 民主党代表選挙 海江田万里元経産相が新代表に
第二次安倍内閣発足
- 26日 野田内閣総辞職 民主党政権に幕

2013年1月

- 19日 日本維新の会の石原慎太郎代表と橋下徹代表代行が共同代表に
- 21日 米・オバマ大統領就任演説 第2期オバマ政権始動

■ UAゼンセン・連合の歩み

2012年11月

- 5日 UIゼンセン同盟「躍進セレモニー」(パシフィコ横浜)
サービス・流通連合「解散大会」(東京・京王プラザホテル)
- 6日 UAゼンセン結成大会 (パシフィコ横浜)
代議員、来賓、傍聴など2500名が出席し、2478組合・141万名の組合員を擁する新しい産業別組合が誕生。初代会長に逢見直人氏、書記長に松浦昭彦氏を選出
- 6日 第1回中執「第1回中央委員会の開催について」など
- 6～7日 3部門の結成定期中央委員会 1)製造部門 2)流通部門 3)総合サービス部門(いずれもパシフィコ横浜)
- 7日 第1回ヤングリース委員会「北朝鮮による拉致被害者家族支援署名活動」など
- 15日 連合：第14回中執「男女雇用機会均等法改正に向けた取り組み」など
- 21日 第1回常執「2013労働条件闘争方針の骨子」など
- 22日 故宇佐美忠信さん(ゼンセン同盟第4代会長)と故芦田甚之助さん(ゼンセン同盟第5代会長)を「偲ぶ会」



2012年12月

- 4日 第46回衆議院議員選挙が公示される
- 16日 第46回衆議院議員選挙投票：(組織内・準組織内3氏健闘するも惜敗)
- 19～20日 第2回中執「UAゼンセン歌の募集」など
- 20日 連合：第64回中央委員会「2013春季生活闘争方針」など



2013年1月

- 10日 第2回常執「新加盟組合の承認」など
- 24日 連合：第16回中執「1000万連合に向けた当面の取り組み」など

- 31日 第1回中央委員会(東京・きゅりあん)中央委員、役員1000名が出席
「2013労働条件闘争方針」「2013年期末一時金闘争方針」「第23回参議院議員選挙必勝決議」など5議案を決定



2013年2月

- 12日 東日本大震災復興支援・福島県会津地域における除雪ボランティアの派遣
- 15日 連合：第17回中執「政策・制度実現の取り組み方針」「2013年最低賃金の取り組み」



2013年3月

- 7日 第4回中執「職場の安全衛生活動の強化」など
- 7日 2013労働条件闘争・参議院議員選挙「勝利」中央総決起集会
- 7日 連合：第18回中執「労働規制緩和に反対する緊急集会の開催」など

2013年4月

- 1日 「改正労働契約法」「改正労働者派遣法」「改正高年齢者雇用安定法」が施行される
- 5日 「なぎ君を救う会支援」カンパ活動で1525万846円を集約
- 5日 第3回常執「新加盟組合の承認」「第42回赤松賞の推薦」など
- 11日 連合：第19回中執「男女平等月間の取り組み」など
- 27日 連合：第84回メーデー中央大会(日本介護クラフトユニオンの吉田きみ子さんが介護労働者の処遇改善を求める代表発言)

2013年5月

- 11日 連合：「安心と信頼の医療と介護」中央集会(UAゼンセン76名参加)
- 17～19日 富士山の森づくり 富士山麓の自然保護のための植樹ボランティア活動。合計136名参加
- 21日 第4回常執「2014年度活動計画を討議」など
- 25日 ボランティア活動の第1～第3次ボランティア海外派遣を実施(53名派遣)
- 31日 連合：第65回中央委員会「2014～2015年度政策・制度 要求と提言」「連合第4次男女平等参画推進計画」など

2月

- 1日 クリントン米国務長官が退任
- 2日 安倍首相就任後初の沖縄訪問、仲井真知事と会談
- 25日 韓国大統領にパク・クネ氏が就任

3月

- 14日 中国全人代・国家主席に習近平氏を選出
- 15日 安倍首相、TPP交渉参加を表明
- 19日 白川日銀総裁・任期満了前の退任

4月

- 15日 ボストンマラソン爆弾テロ事件
- 19日 ネット選挙・改正公選法が成立
- 22日 名古屋市長選・河村たかし氏が3選果たす

5月

- 5日 長嶋、松井氏が国民栄誉賞受賞
- 13日 橋下氏、慰安婦発言
- 23日 三浦雄一郎氏、最高齢でエベレスト登頂達成
- 31日 改正公選法が成立

■ 日本内外の動き

6月

- 20日 イラン大統領・ロウハニ師が勝利
- 22日 富士山が世界文化遺産に
- 23日 東京都議選・自公圧勝、全員当選
- 30日 エジプトで反大統領デモが本格化

7月

- 5日 参院選・ネット選挙運動が解禁
- 12日 ノーベル平和賞受賞のマララ・ユスフザイさん国連本部で演説
- 21日 参院選で自民圧勝
- 24日 英王室、赤ちゃん(ジョージ王子)をお披露目

8月

- 4日 無人補給機「こうのとり」搭載のH2Bロケット、打ち上げ成功
- 15日 京都花火大会で爆発事故
- 29日 JR東海が新型リニアによる本格走行試験(505キロ)

9月

- 7日 2020年夏季五輪開催地、東京に決定
- 21日 ケニアでショッピングモール襲撃事件

10月

- 1日 安倍首相が消費税率引き上げを表明
- 2日 伊勢神宮・式年遷宮の主要行事「遷御」が行われる

■ UAゼンセン・連合の歩み

2013年6月

- 4～5日 まちづくり委員会代表者会議「地域産業振興とまちづくり政策の策定・視察と経験交流」
- 13日 連合：第21回中執「ディーセント・ワーク世界行動デーの取り組み」など
- 20日 第5回中執「CSR(企業の社会的責任)対策指針」など

2013年7月

- 4日 第23回参議院議員選挙が公示
- 21日 第23回参議院議員選挙の投開票。「かわい たかのり組織内候補」「山根隆治準組織内候補」の両名は次点で惜敗。参議院議長を務めた平田健二参議院議員(組織内)が引退
- 24日 第5回常執「CSA(アジア連帯委員会)中古衣類・海外輸送費カンパ」など
- 26日 連合：第22回中執「連合・中華全国総工会(ACFTU)定期協議」など

2013年8月

- 6日 第6回中執「UAゼンセン正月営業対策指針」「東日本大震災の復興・再生に向けた今後の活動」など



2013年9月

- 17日 UAゼンセン シニア友の会第47回総会(宮城・江陽ホテル) 110名出席
- 18～19日 UAゼンセン第2回定期大会(宮城・サンプラザホール) 代議員637名をはじめ、2200名が出席。「UAゼンセン歌」を披露
- 19日 第1回中執「中期ビジョン策定委員会」の設置
- 27日 連合：「“生涯”ハケンで“低賃金”に異議あり！ 激励集会



2013年10月

- 2日 第2回中執「組織・財政フォローアップ委員会の設置」など
- 3～4日 連合：第13回定期大会 「ILEC(教育文化協会)幸せがし文化展」で笠原八重子さん(マルサンアイ労組)が大賞を受賞。

- 20日 オーストラリア・ニューサウスウェールズ州で山火事により11万ヘクタールを焼失

11月

- 3日 東北楽天が、日本シリーズを制し初優勝
- 20日 西之島南南東沖約500mの海域で、噴火による新島出現を確認
- 23日 中国政府が、東シナ海の尖閣諸島を含む上空を防空識別圏に設定

12月

- 4日 和食が無形文化遺産に登録されることに
- 6日 特定秘密保護法が参議院で可決され成立
- 14日 中国の無人探査機が月面着陸に成功。旧ソ連、米国に続き3カ国目
- 19日 東京都の猪瀬知事が、5000万円受領問題を受け、辞職を表明

2014年1月

- 15日 海上自衛隊の輸送艦が釣り船と衝突
- 28日 STAP細胞発表

神津里李生氏を新事務局長に選出

- 24日 連合：第1回中執「労働者保護ルール改悪阻止の闘争本部の設置」「労働時間法制の見直しにあたっての考え方」など
- 27日 UAゼンセン 中小組合の組織強化と教育強化 「嚆矢(こうし)塾」をスタート

2013年11月

- 22日 第1回常執「労働条件闘争方針の骨子」「フィリピン台風被害緊急カンパの実施」など
- 22日 連合：「労働者保護ルールの改悪阻止全国行動！ 11.22結起集会」
- 28日 政策フォーラム「2014労働条件闘争方針の検討、労働条件闘争のあり方委員会の中間報告」(ホテルイースト21)504名参加
- 29日 連合：春季生活闘争・格差是正フォーラム「男女間の格差をどのように解消するのかー均等と両立の取り組みを！」



2013年12月

- 5日 連合：STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現12.5緊急集会
- 6～7日 ヤングリーブス委員会・全国代表者会議(岡山・中央教育センター)
- 10日 連合：世界人権宣言65周年記念東京集会(一ツ橋ホール)
- 15～16日 第3回中執「遠位型ミオパチーの難病指定を求める請願署名の実施」「不払い(サービス)残業・長時間労働撲滅運動の取り組み」
- 19日 連合：第3回中執・第1回中執「連合白書」など



2014年1月

- 9日 第2回常執「消費税の適正転嫁の周知ならびに相談窓口などの取り組み」「第23回参議院議員選挙(比例)の総括」など
- 23日 連合：第4回中執「激甚災害に対する自然災害救援・支援の拠出」など

2月

- 7日 ソチ冬季五輪開幕
- 12日 舛添都知事、初登庁

3月

- 24日 橋下氏大阪市長に就任
- 27日 袴田事件の再審決定を受け、袴田巖さんが釈放

4月

- 1日 消費税増税、税率8パーセントに

5月

- 27日 高円宮家の次女典子さま、婚約会見
- 29日 日本維新の会分党
- 29日 環太平洋連携協定(TPP)交渉をめぐる日米実務者協議開催

■ UAゼンセン・連合の歩み

- 30日 第2回中央委員会(福島県文化センター)「2014労働条件闘争方針」他
来賓の佐藤雄平福島県知事は震災復興支援への謝辞と県の現状、今後の課題にふれ、引き続きの支援を訴え



- 30日 第4回中執「第2次労働条件闘争あり方委員会の設置」「雇用調整助成金制度の見直しによる影響の確認」など

2014年2月

- 20日 連合：第5回中執「職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた取り組み」など

2014年3月

- 5日 第5回中執「加盟組合の事業所登録の実施」「組織力・政治活動力の強化について」など
- 5日 2014賃金闘争中央総決起集会(大阪市中央公会堂)1225名出席
- 6日 連合：第6回中執・中闘「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現全国総行動の具体化」



2014年4月

- 2日 第3回常執「運営面・組織面での課題の抽出・整理および改善策の検討の今後の進め方」など
- 8日 UAゼンセン政治連盟 友好国会議員懇談会(東京・アルカディア市ヶ谷)
- 17日 連合：第7回中執「1000万連合に向けた組織強化月間の取り組み」など
- 26日 連合：第85回メーデー中央大会 結成25年目のスローガン「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」UAゼンセンから2000名が参加



2014年5月

- 15日 川端達夫(衆議院比例近畿ブロック)元衆議院議員が比例繰り上げ当選
- 15日 連合：第8回中執・中闘「東北の子供応援わんぱくプロジェクトの実施」など

6月

- 10日 日本維新の会と結いの党が政策協議
- 21日 富岡製糸場が世界文化遺産に登録決定
- 30日 環太平洋連携協定(TPP)交渉をめぐる日米実務者協議再開

7月

- 1日 政務活動費を使った出張について、野々村兵庫県議の釈明会見
- 31日 「マクドナルド」で中国製チキン商品を販売中止

8月

- 5日 理化学研究所・再生科学総合研究センター、笹井副センター長が自殺
- 25日 バリ解放70周年の記念式典開催
- 28日 代々木公園で Deng 熱予防のため殺虫剤散布

9月

- 3日 安倍首相が内閣改造、5人の女性を閣僚に起用
- 8日 テニス4大大会全米テニスで錦織圭が準優勝

- 28日 第4回常執「2015～2016年度運動方針(素案)」「活力ある地域社会の実現に向けた『まちづくり政策』(素案)」など

2014年6月

- 4日 富士社会教育センター第4回評議員会 理事に逢見会長、理事会で理事長に落合氏(前UIゼンセン同盟会長)を選出
- 19日 連合：第9回中執「今後の子ども・子育て支援に係る取り組み」など
- 24～25日 第6回中執「経営対策指針の策定」「重点政策の改訂」など

2014年7月

- 16日 第5常執「新加盟組合の承認」など
- 17日 連合：第10回中執「過半数代表制の適切な運営に向けた制度整備等に関する連合の考え方」など

2014年8月

- 1日 友愛会創立を記念する会 友愛会を顕彰する報告会が開かれる
- 6日 第7回中執「第24回参議院議員選挙(比例代表)組織内候補者の擁立」など
- 22日 連合：第11回中執「日本版シェワードシップ・コードに対する連合の考え方」など

2014年9月

- 9日 UAゼンセン シニア友の会第48回総会(京都・ホテルモントレ京都)114名出席

UAゼンセン結成までの道のり

UIゼンセン同盟と日本サービス・流通労働組合連合の新産別結成までの動向

めていかなければならない問題の進展ははかばかしくなく、第6回中央委員会(2008年1月)において、「JSDとの産別統合に向けた話し合いは12月7日の両組織代表者会議において、一旦ケジメをつけることとなった。流通産業の大同団結の意思は引き続き持ちながら、今後も友好関係を保っていくこととなった」と共同文書に謳われた報告を行い、統合協議の終了が告げられて以来、4年が経過することになった。

UIゼンセン同盟は第10回定期大会(2011年9月)の落合清四会長挨拶で、JSDとの統合について、不退転の決意で協議に臨むことが示された。「JSDとの産別統合については、ご存知のように2005年末に産別統合を目ざし両者で協議機関を設置し、新産別としての具体的な姿、機構、運営について合意を得ました。

しかし会費水準、統合組織の名称等で合意に至らず、協議打ち切りを確認し、当分の間、産別統合問題は棚上げにすることにいたしました。

爾来4年が過ぎましたが、昨年秋、JSDから、やはり産業政策実現のためにも統合協議を再開したいとの申し入れを受けました。

これに対してUIゼンセン同盟は統合を確実に導く立場から、次の考え方を提示してきました。第1点は、統合のための協議再開に当たっては両者が“統合ありき”の決意を持つことが必要。第2点は、統合の時期を2012年秋とし、組織改革と併せて新組織を誕生させることを切に希望。もし2013年以降の統合の場合は、UIゼンセン同盟の組織改革後の「組織の姿」のなかでの統合とせざるを得ない大きな事情があること。第3点は、前回の協議であらかた合意しているので残された課題を協議し、できる限り早く統合期日に合わせた準備委員会を始動させることが必要。以上3点をふまえて本大会直後から再協議を進めてまいります」。

(2)一方、サービス・流通連合の組織内の動きについては、2011年9月20日開催の臨時大会で決

(1)UIゼンセン同盟と日本サービス・流通労働組合連合(JSD)との統合協議は、同じ産業・業種であるUIゼンセン同盟流通部会との間で政策協議を長年続けてきており、1989年の連合結成後に産別統合の流れができ、「一つの産業に一つの産別」の機運を高める話し合いを継続してきた。さらに、新産別結成を目ざす両組織の具体的な動きについて、UIゼンセン同盟は第6回定期大会(2007年9月)の落合清四氏の会長挨拶で述べている。落合会長は、「日本サービス・流通連合(以下、JSD)とUIゼンセン同盟との産別統合を目ざし、2005年末、両組織で『統合推進委員会』を立ち上げ2年を迎えようとしています。その間、数十回にわたる推進委員会、企画委員会、プロジェクトのなかで、お互い前向きな協議を重ねてきました。その結果、私の感じるところ、ほぼ大枠について合意を見つつあります。

そもそもこの産別統合の話し合いの淵源(えんげん)は、いわゆる流通産業のなかに三つも四つも産別組織が存在することは、流通労働者にとって力を結集することにはならない。したがって、産別統合し、力を結集し、流通労働者の地位の向上をはかる、という産別運動の原点に立ち返ったことから始まりました。

この思いを共有し、両組織とも組織のエゴを超えた、将来にわたる責任ある態度で、この2年間、協議してきたことを皆さんに報告しておきます。

しかし、お互い独立した組織同士の統合ですので、まだ、お互いに詰めていかなければならない問題はありますが、この産別統合は10数年にわたる歴史的経過をふまえれば、いま、この時代に統合を成し遂げることが両組織の必然であると思います。したがって近々には、両組織の代表者同士で腹を割って話し合い、結論が出せたらと思っています」と述べています。

こうして2006年は再編統合推進委員会と「新組織の姿(骨子案)策定」のための小委員会、企画委員会、分科会が精力的に開催されたが、お互い詰

両組織の解散大会

「UIゼンセン同盟躍進セレモニー」「日本サービス・流通労働組合連合解散大会」の様

11月5日、UIゼンセン同盟は横浜市のパシフィコ横浜で約2000名の出席者の下、「躍進セレモニー」を開催した。

冒頭、落合清四会長は「先駆者達が歩んだ道をそのまま歩むのではなく、彼らが目ざしたものを目ざしていこう」と挨拶、今後の運動の心構えを示した。記念DVDの上映に続いて、高木剛UIゼンセン同盟顧問から「UIゼンセン同盟に懸けた想いと10年の軌跡」と題した記念講演を受けた。その後、UIゼンセン同盟旗および都道府県支部旗の降納式を挙行、私達の活動を見守り続けてきたUIゼンセン同盟旗は中央教育センター・友愛の丘に永久に保存される。

最後に、徳田孝蔵副会長の音頭で万歳三唱を行い、新産別「UAゼンセン」の躍進を誓い合った。



「躍進セレモニー」でおごそかにUIゼンセン同盟旗の降納式を行う様子

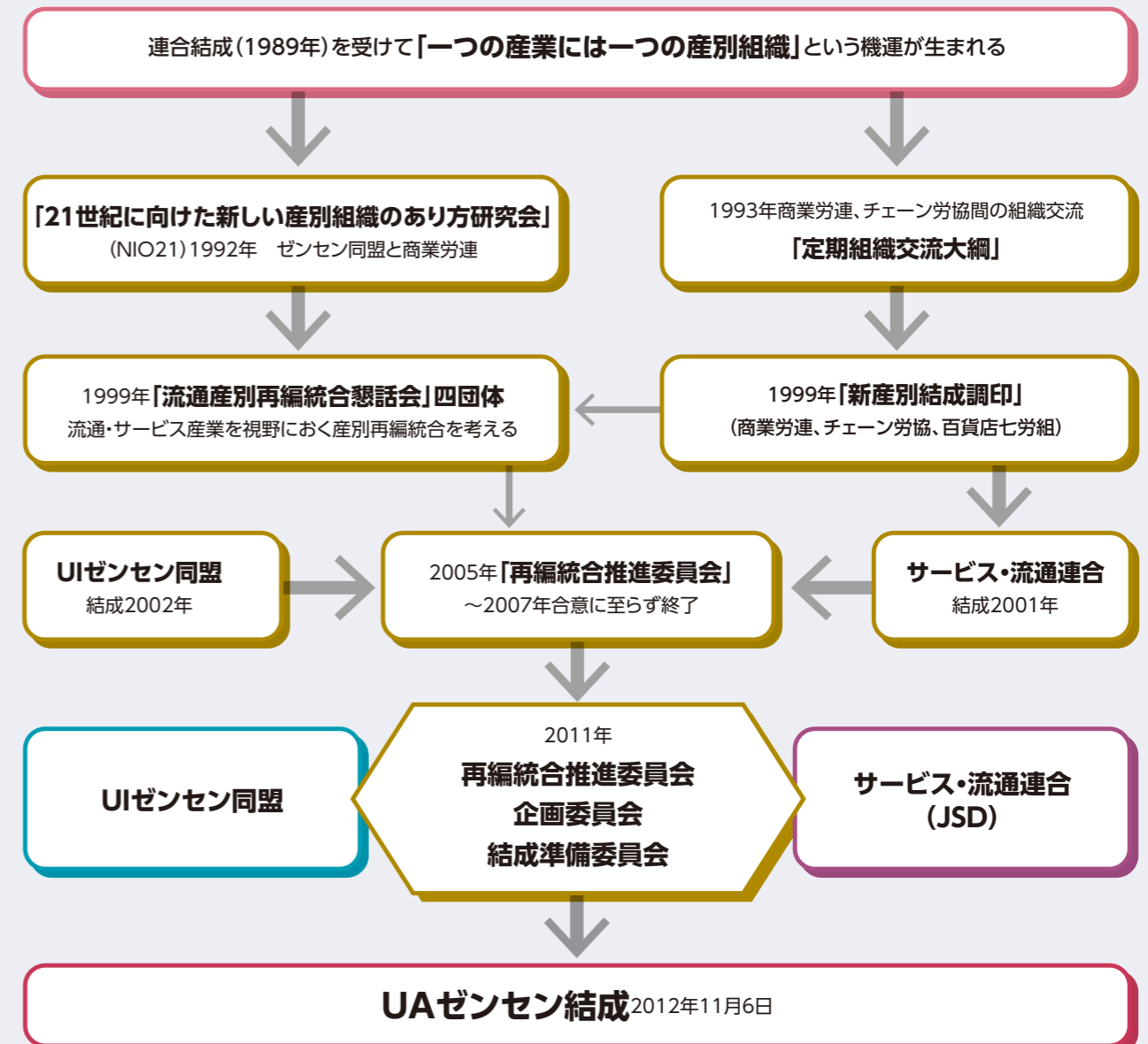
「日本サービス・流通労働組合連合(JSD)」は11月5日、京王プラザホテルで約450名が出席し、解散大会を開催した。冒頭、八野正一会長は新産別結成へ向けた加盟組織の尽力に感謝を述べ、活動経過報告、UAゼンセンの結成、解散決議などすべての議案が可決された。その後、表彰とJSD旗の降納式が行われ、JSDは11年余りの歴史に幕を閉じた。

引き続き開催した解散レセプションでは、JSDの結成に関わった諸先輩方、友好協力議員、関係者などが出席し、これまでの取り組みに対する、ねぎらいと新産別への期待を込めた挨拶を受けた。会場ではJSD11年の歩みのDVDを上映、JSDの活動が懐かしく思い出されるとともに、新産別においても一層組合員のために挑戦していこうという決意を新たにしました。



決意新たに日本サービス・流通労働組合連合解散大会で力強く万歳三唱を行う出席者達

UAゼンセン結成の協議プロセス



参考:産別組織の記

UAゼンセン結成準備委員会委員一覧

UIゼンセン同盟		サービス・流通連合	
会長(専従)	落合清四	会長(専従)	八野正一
副会長(専従)	徳田孝蔵	会長代行(専従)	岡田 啓
副会長(専従)	島田尚信	副会長(チェーンストア部会部会長・専従)	吉岡敦士
副会長(繊維関連部会会長・ユニチカ)	杉浦和則	副会長(専従)	津田真義
副会長(化学部会会長・三菱レイヨン)	沖田政憲	事務局次長(専従)	石黒生子
副会長(流通部会会長・ダイエー)	藤吉大輔	事務局次長(専従)	小川裕康
副会長(フード・サービス部会会長・丸大食品)	保坂芳典	事務局次長(専従)	俣野勝敏
副会長(生活・総合産業部会会長・ダスキン)	竹田政弘	事務局次長(専従)	森田了介
副会長(地方部会会長・専従)	松本昌三	百貨店部会部会長(J.フロントリテイリンググループ)	簗田欣治
副会長(専従)	逢見直人	総合サービス部会部会長(クレディセゾン)	篠崎良光
書記長(専従)	松浦昭彦	政策局長(専従)	杉山慎一
副書記長(組織担当・専従)	橋本和秀	常任顧問(専従)	筒井隆昭
副書記長(財政担当・専従)	山河 博		

定された「UIゼンセン同盟との産別再編統合協議再開」に関する方針に詳細な報告がされている。

産別再編統合の必要性については、既に第5回定期大会(2005年6月)において確認がされているが、統合協議の打ち切り後、2009年8月～2010年6月の間に全加盟組合との意見交換を行い、意見を反映した方針(案)をまとめた。JSDの基本的考えは、「産別再編統合で『産業政策の実現』をつうじて流通サービス産業の産業基盤の確立と働く者の地位向上に向けた取り組みを一層強化していくこと」としている。そのうえで、産別再編協議のスタートの方向性を確認していくことを第10回定期大会(2010年6月)で行った。

さらに、方針(案)はサービス・流通連合加盟組合全体の議論を重ねたうえで提案するにあたっては、新産別結成に向けて①UIゼンセン同盟との産別再編統合協議を再開すること、②2013年秋に新産別結成を目標とするスケジュール方針を提案の骨子としている。しかしながら、UIゼンセン

同盟においては、2012年以降の次の10年に備えるための検討を進め、「組織・運動評価特別委員会中間報告」が第9回定期大会(2010年9月)で確認され、2012年9月の実施を目途に議論を進めている。UIゼンセン同盟の中間報告の内容は、産別再編統合協議再開において非常に重要な意味を持つものであることと理解し、この状況変化をふまえて協議再開することを求めている。

こうした執行部の熱意と、全加盟組合との対話をつうじた産別再編統合への取り組みの成果は、一つの組合の脱落もなく、全組合が新産別結成に臨んだことである。また、UIゼンセン同盟も全加盟組合が参加した。

このような統合協議再開に向けた組織討議をふまえて、2011年9月29日に再編統合推進委員会が再開された。

また、組織の見直しと産別統合協議の報告は、UIゼンセン同盟史第2巻に本編、資料編にわたりまとめられている。

(参考)
産別再編統合協議開始にあたっての確認事項

1. 産別再編統合協議の進め方・スケジュールについて

(1)再編統合推進委員会(以下推進委員会)および企画委員会は本日両組織三役レベル政策協議で合意した「産別再編統合協議の再開について」にもとづき、産別再編統合の実現に向けた協議を行う。

2. 「新産別の姿」の完成に向けた協議について

(1)前回の産別再編統合協議結果としての「新産別の姿(名称と会費を除く)」を尊重し、これを出発点として協議を行う。ただし、この間の環境変化や加除修正の必要な部分については協議のうえ見直しを行う。

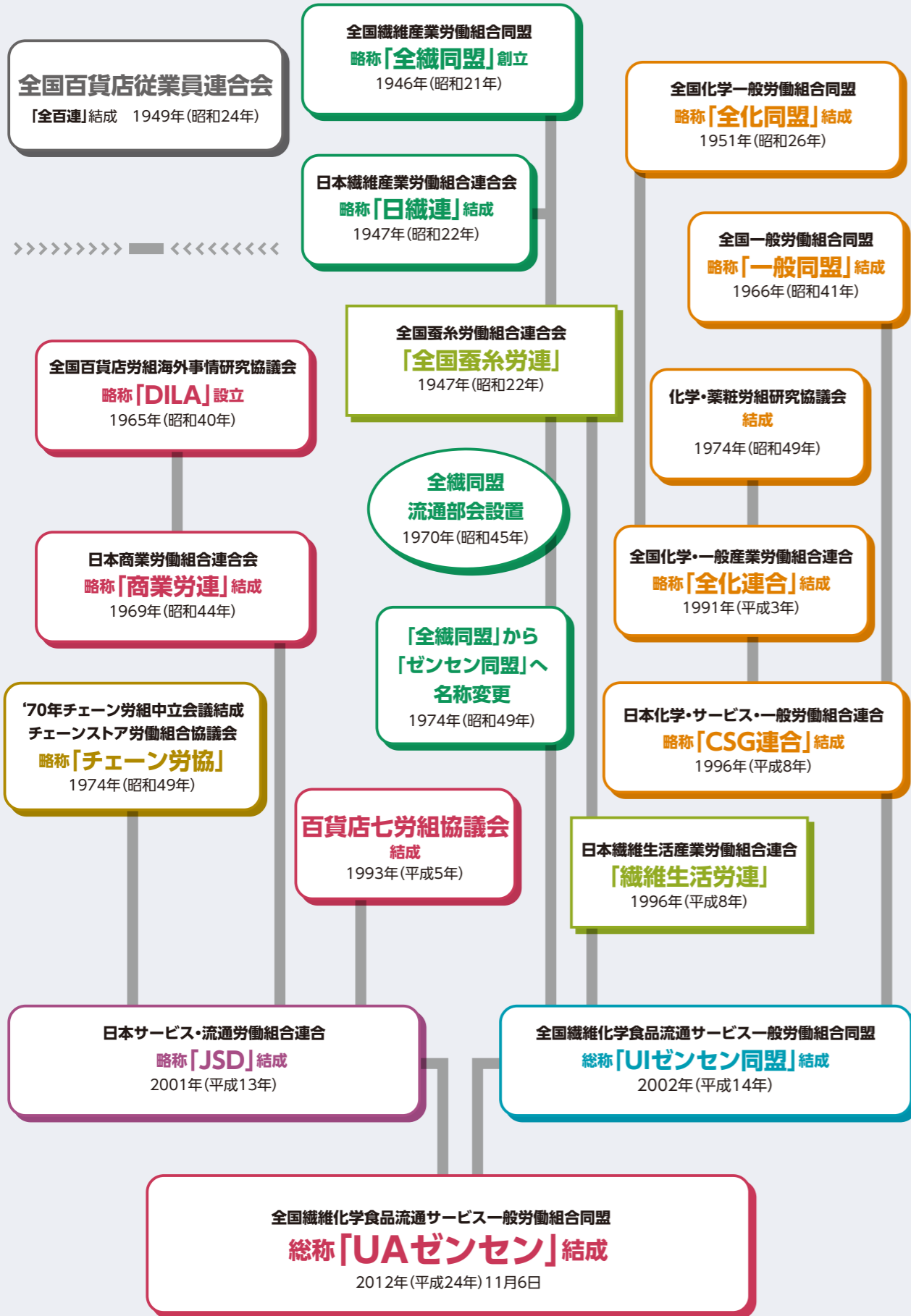
(2)協議の主な内容としては以下のとおりとする。

- 1)流通サービス産業の政策実現について
- 2)部会の構成と運営について
- 3)効率的な組織運営と公正・公平な財政運営について
- 4)会費について
- 5)新産別の名称について

第1回再編統合推進委員会

UIゼンセン同盟 日本サービス・流通労働組合連合
会長 落合 清四 会長 八野 正一

「UAゼンセン」までの歴史



最初の全織同盟本部。1946年8月、東京神田神保町にある救世軍本営の2階に間借りしていた



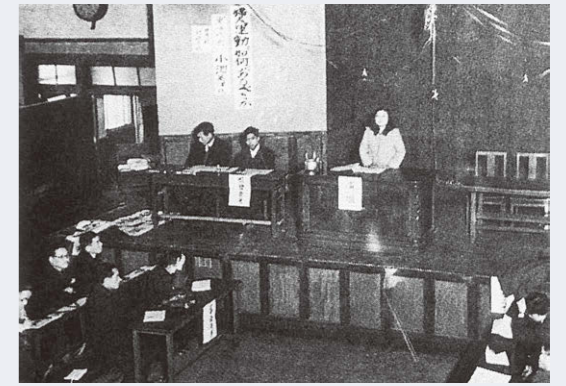
1974年の大会は2月(第29回)と9月(第30回)の2回行われた。第30回大会では全織同盟からゼンセン同盟へと名称を変え、運動面でもより一層の充実をはかった



商業労連、チェーン労協、百貨店七労組統合、日本サービス・流通労働組合連合結成大会 2001年7月4日



UNI(国際商業)世界大会 長崎 2010年11月9～12日「UNI行動戦略計画」を採決



1950年1月27日、東京・戸板女専講堂で第1回全国分論大会を開催。テーマ「婦人運動は如何にあるべきか」



大型店出店規制強化に反対する中央総決起集会後にデモ行進する仲間達。全国で大店法改悪阻止行動を展開 1977年5月15～17日



ゼンセン同盟・CSG連合・繊維生活労連 統合大会 UIゼンセン同盟第1回定期大会2002年9月18日



2011年5月結成準備室(石黒生子サービス・流通連合事務局) 局長・松浦昭彦UIゼンセン同盟書記長